

Scarborough Fair - Canticle (T01)

スカボロー・フェア(詠唱)



Arranged and performed by: Simon & Garfunkel

Transcribed and rearranged by: Terry Asakawa

T00 Apr. 19, 2008 / Nov. 23, 2025

- ◆ Simon & Garfunkelの演奏をもとに補編曲した。
- ◆ 原曲はイギリスの伝統的なバラッドであり、それをSimon & Garfunkelが編曲し、Canticle(詠唱)を重ねたものである。
- ◆ E minorとして記譜されることが多いが、本来E dorian(ドリア旋法)の曲であるので、そのように記譜した。
- ◆ 4分の3拍子で記譜されることが多いが、伴奏の形態に見られるように2拍子との複合拍子であるので8分の6拍子で記譜した。
- ◆ Guitar 1, 2(主旋律)と、Guitar 3(詠唱), 4(Bass)とはステージ左右に分かれ、その他のパートはその間に位置すると効果的である。
- ◆ Guitar 5(Obligato)はフォーク・ギター、12弦ギター、マンドリンなど鉄弦楽器とするのも効果的である。
- ◆ Guitar 6は、Paul Simonの秀逸なギター・アレンジを踏襲した。8分の6拍子と4分の3拍子のアクセントを使い分けるために右手の指使いに留意。
- ◆ 太線の//印は、印のあるパート間でパート交代可能な位置を示す。(Guitar 4パートに移る場合には⑥=Dに)

A ♩ = 128

Guitar 1 (Melody)
Guitar 2 (Harmony)

Guitar 3 (Canticle)
Guitar 4 (Bass, ⑥=D)

7

B

14

21

28

C

35

Scarborough Fair - Canticale

42

G1
G2

G3
G4

49

G1
G2

G3
G4

55

G1
G2

G3
G4

D

//G3のみ

60

G1
G2

G3
G4

67

G1
G2

G3
G4

74

G1
G2

G3
G4

//G3のみ

80

G1
G2

G3
G4

E

8

Scarborough Fair - Canticale

87 8

G1
G2
G3
G4

94

G1
G2
G3
G4

101

G1
G2
G3
G4

107 8

G1
G2
G3
G4

114 8

G1
G2
G3
G4

121 8

G1
G2
G3
G4

128 **G**

G1
G2
G3
G4

F

//G3のみ

//

//